## 平成29年度 免許状更新講習【選択】シラバス

講習科目名	健康教育推進へのステップ ①		
時間数	6時間		
受講対象者	小学校・	中学校・高等学校・特別支援学校教諭、養護教諭	
担当講師	大平曜子	-、堤俊彦	
		健康に影響を及ぼすパーソナリティ	
	講習丨	健康教育は個人の行動や生活習慣の改善をめざすという点で、個人に向けられる場合が多い。健康行動やライフスタイルの説明を、個人の責任に帰することで終わらせることはないが、病の発症や進行にパーソナリティ特性が影響するというのも確かであろう。本講習では、健康なパーソナリティを概観し、健康教育推進上、考えておくべき疾病誘発パーソナリティやその予防介入についてみていく。また、健康が社会心理的文脈で語られることも多いことから、健康に関連する社会性の強い事柄についても考えていく。  〔担当:大平 曜子〕	
講習の概要	講習Ⅱ	心の健康問題に対する認知行動的アプローチ	
		様々なストレスやそれにともなう不安と向き合いながら、日々生活している子どもは多い。イライラや、すぐキレる、感情のコントロールができない、また、一見問題無く見えても、様々な事情から、怒りや悩みを抑圧しまま抱え込んでいる子どもいる。養護教諭はこれら子どもの呈する多様な心の問題に対して、支援者としてどのような対応が求められているのか。本講習では、子どもの健康的な生き方を求める上で必要となる認知面や行動面の理解と対応について、教師自身のメンタルヘルスの維持を振り返る視点も含めた実践法を学ぶ。  〔担当:堤 俊彦〕	
評価方法		支試験の成績により評価します。講習   及び講習    で100点満点となる成績評 60点以上を合格とし、履修認定を行います。	
成績評価 の観点	講習丨	健康に影響を及ぼすパーソナリティ	
		・健康行動に影響を及ぼすパーソナリティと関係要員の理解 ・健康を脅かす行動と予防的介入について考察し、説明できる	
	講習Ⅱ	心の健康問題に対する認知行動的アプローチ	
		・心の健康に影響を及ぼす個人の考え方・生き方のメカニズムの理解 ・健康行動を身につけるための認知行動的アプローチ法の獲得	
使用する 教材等	全講習	必要に応じて資料を配付する。	

## 平成29年度 免許状更新講習【選択】シラバス

講習科目名	健康教育推進へのステップ ②		
時間数	6時間		
受講対象者	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭、養護教諭		
担当講師	加藤和代、柴田順子		
講習の概要	講習丨	児童生徒の現代的な健康課題と健康教育/健康課題への対応 社会環境の変化などにより、深刻化している子どもたちの様々な健康課題に対応する学校での健康教育の推進が求められている。 本講習では、子どもの現代的健康課題についての理解を深めるとともに、健康課題を解決するための「体育科」「保健体育科」と関連させた保健指導のあり方を考える。さらに学級活動における保健指導の学習指導案の作成などを通して保健教育の一層の推進につなげる学びに資する。  〔担当:加藤 和代〕  保健管理から保健指導へ	
	講習Ⅱ	学校保健活動を推進していく上で、保健管理と保健指導は両輪の役目を果たしている。 本講習では、保健管理における心身の健康管理から、養護教諭の専門性を生かした個別の保健指導への進め方について理解を深める。「健康診断と保健指導」「疾病の予防及び管理と保健指導」等、養護教諭を中心に関係教職員等と連携した事例をもとに保健指導について考える。  〔担当:柴田 順子〕	
評価方法	筆記・実技試験の成績により評価します。講習   及び講習    で100点満点となる成績評価を行い、60点以上を合格とし、履修認定を行います。		
成績評価 の観点	講習丨	児童生徒の現代的な健康課題と健康教育/健康課題への対応  ・児童生徒の健康課題の現状についての理解  ・健康課題の解決につなげる保健指導のあり方についての考察	
	講習Ⅱ	保健管理から保健指導へ ・保健管理からつないでいく保健指導への理解 ・関係教職員等と連携した保健指導についての理解	
使用する 教材等	全講習	必要に応じて資料を配付する。	

## 平成29年度 免許状更新講習【選択】シラバス

講習科目名	健康教育推進へのステップ ③		
時間数	6時間		
受講対象者	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭、養護教諭		
担当講師	戸田芳雄		
	講習丨	保健教育の充実	
		社会環境の変化などにより、深刻化している子どもたちの様々な健康課	
		題に対応する学校での健康教育の推進が求められている。	
		本講習では、子どもの現代的健康課題についての理解を深めるとともに、	
講習の概要		健康課題を解決するための「体育科」「保健体育科」と関連させた保健指導	
		のあり方を考える。さらに学級活動における保健指導の学習指導案の作成な	
		どを通して保健教育の一層の推進につなげる学びに資する。	
		〔担当:戸田 芳雄〕	
評価方法	筆記・実技試験の成績により評価します。		
ит паузуда	100点満点	なる成績評価を行い、60点以上を合格とし、履修認定を行います。 	
成績評価 の観点	講習丨	保健教育の充実	
		・学習指導要領における保健教育の内容や特質についての理解	
		・講義内容の理解を元に、養護教諭と保健学習充実へのかかわりについての	
		考察	
(古田土で			
使用する 教材等	全講習	必要に応じて資料を配付する。	